

コンパクトディスク チェンジャーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-424RF



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告・⚠注意	4
▶準備	
まず、本機をリセットする	6
CDを入れる	7
周波数を設定する	9
▶ここだけ読んでも使えます	
CDを聞く	10
▶その他の操作	
出力レベルを設定する	13
付録	
使用上のご注意	14
各部のなまえ	15
故障かな?	16
保証書とアフターサービス	17
主な仕様	18



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



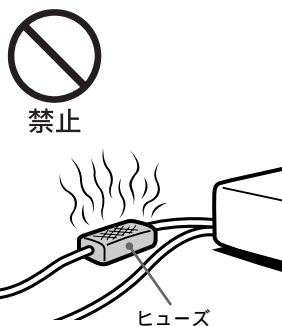
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



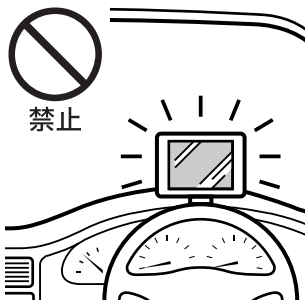
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



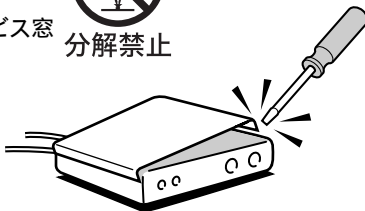
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



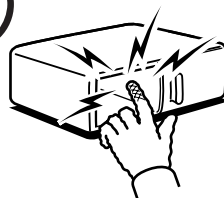
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止

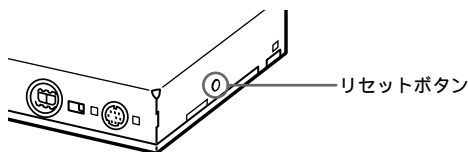


はじめに

本機に接続したCDチェンジャーの音声をFM信号に変換して送信し、FMチューナーで受信して聞くことができます。

まず、本機をリセットする

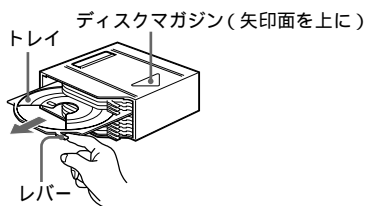
初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、ハイダウェイユニットのリセットボタンをつま楊子の先などで押す。



CDを入れる

準備

1 ディスクマガジンからトレイを引き出す。



ご注意

CDの落下防止のためにトレイは1枚ずつ引き出してください。

本機のディスクマガジンはXA-250をお使いください。XA-10Bはお使いになれません。

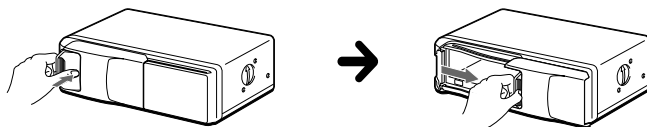
2 ディスクマガジンにCDを入れる。



ラベル面を上にして入れます。

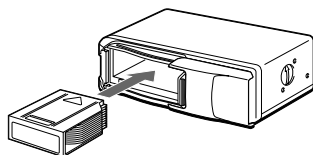
各トレイに1枚ずつ(10枚まで)

3 ドアのロックを外して矢印の方向に開く。



けがの原因となりますので、チェンジャーの内部に手を入れないでください。

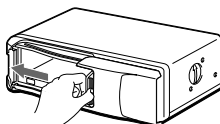
4 ディスクマガジンをCDチェンジャーに入れる。



ご注意

- ディスクマガジンが確実にロックするまで押し込んでください。
- ほこりや異物が入中に入るとチェンジャー内部の読み取りレンズが汚れます。

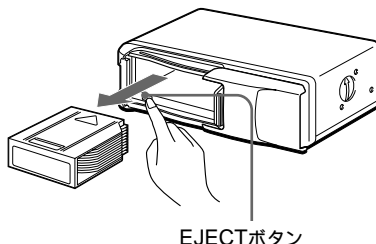
5 ドアを閉める。



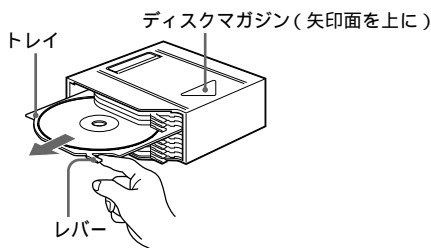
CDを入れる(つづき)

CDを取り出す

1 CDチェンジャーからディスクマガジンを取り出す。



2 ディスクマガジンからCDを取り出す。

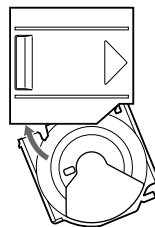


ご注意

8cmCDを聞くときは、ソニーCDシングルアダプターCSA-8(別売り)をお使いください。その他のアダプターをご使用になりますと、動作しない場合があります。またソニーのアダプターをご使用になる場合は、アダプターの3つの爪を確実にディスクに取り付けてください。アダプターを使わないと故障の原因になります。

トレイがディスクマガジンから外れてしまった場合

通常トレイはディスクマガジンから外れないようになっています。もし外れてしまった場合は、右図のようにトレイの切り込みのあるほうを自分のほうに向けて右端をディスクマガジンに差し込んでから、左端をカチッと音がするまで差し込んでください。

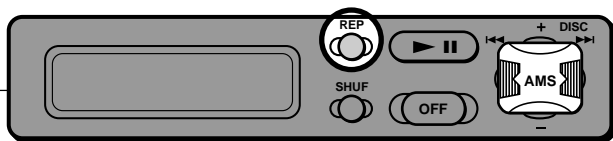


ご注意

トレイは必ず上下正しく差し込むようにしてください。

周波数を設定する

準備



本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があるとCD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機からFMチューナーへ送る周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 REPボタンを2秒以上周波数が表示されるまで押す。



2 AMSボタンを押して、周波数を選ぶ。

◀◀を押すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3 MHz → 89.9 MHz → 89.7 MHz → 89.5 MHz →
89.3 MHz → 89.1 MHz → 88.9 MHz → 88.7 MHz →
88.5 MHz

▶▶を押すと、逆順に表示されます。



3 最後にREPボタンを2秒以上押す。

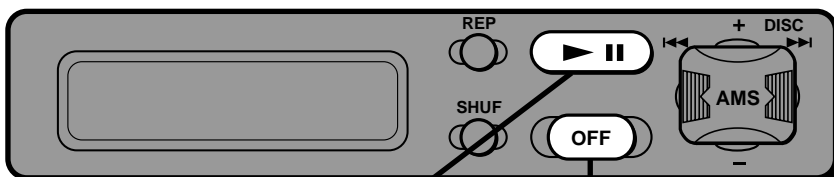
ご注意

本機の周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。

CDを聞く

1 FMチューナーを本機で設定した 周波数に合わせる

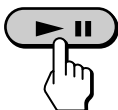
初期値は88.3MHzです。



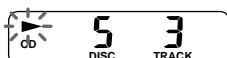
電源を切る
オフ
(OFFボタン)

2 ▶||ボタンを押すと 再生が始まる

プレイ / ポーズ
(▶||ボタン)



再生中に押すと一時停止します。

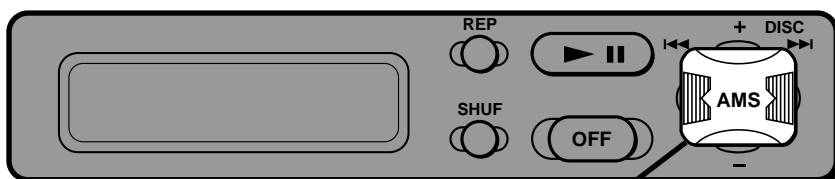


音量 / 音質について

カーオーディオ側で調節します。

ご注意

- ディスクの再生を止めるとスピーカーからザーという雑音ができます。カーオーディオの音量を下げてから再生を止めるようにしてください。
- ディスプレイの▶||ボタンを押すと、自動的にCD再生されます。



曲の頭出しをする

エーエムエス

(AMSボタン)

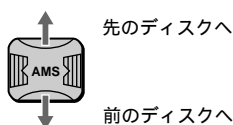


とばしたい曲の数だけ押します。

ディスクの頭出しをする

ディスク

(DISCボタン)

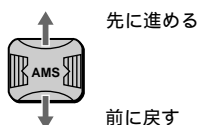


押した回数だけ、前または先のディスクの頭出しをします。

聞きたいところを探す

ディスク

(DISCボタン)



ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離します。

CDを聞く(つづき)

繰り返し聞くリピート(REPボタン)

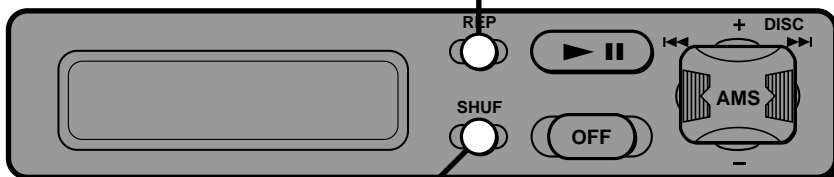
再生中に押して、表示を切り換えます。



「REP1」: 再生中の曲を繰り返す。

「REP2」: 再生中のディスクを繰り返す。

表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。



曲順を変えて聞くシャッフル(SHUFボタン)

再生中に押して、表示を切り換えます。

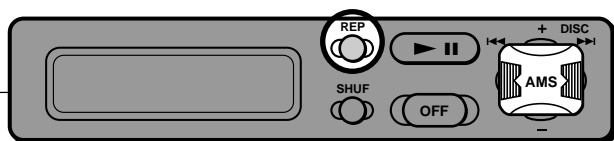


「SHUF1」: 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

「SHUF2」: チェンジャー内のすべての曲を順不同に再生する。

表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

出力レベルを設定する



FMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベルを設定できます。
ふつうは初期値で使いますが、必要に応じて切り換えてください。



1 REPボタンを2秒以上押す。

2 つづけてREPボタンを短く押す。



初期値



3 AMSボタン押して、出力レベルを選ぶ。

◀◀でレベルが低くなります。



▶▶でレベルが高くなります。



4 最後にREPボタンを2秒以上押す。

ここだけ読んでも
使えます

その他の操作

使用上のご注意

ディスプレイの表面を傷めないために

ディスプレイ表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露について

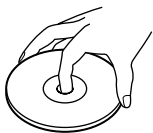
寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

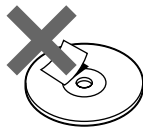
周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスをお申し付けください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

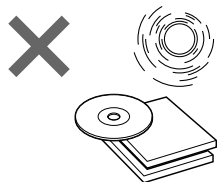


記録面に触れないように持つ。

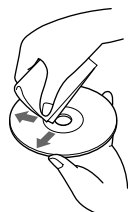


ディスクに紙など貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。

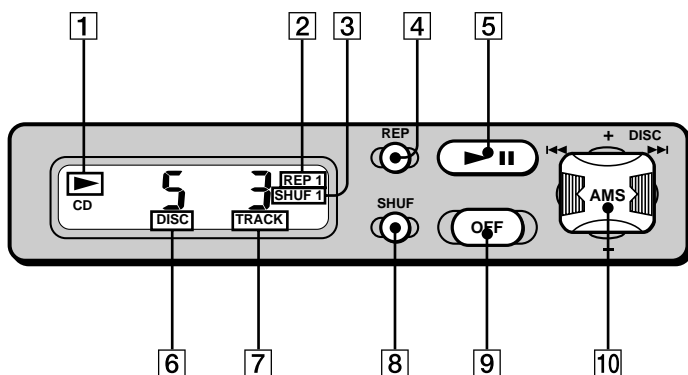


- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると、取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 本機ではCD（円形ディスク）のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

各部のなまえ

ディスプレイ(RM-X64)

内のページに詳しい説明があります。



- | | |
|---|---|
| <p>1 <small>シーディー</small>
▶ (CD再生 / 一時停止) 表示</p> <p>2 <small>リピート</small>
REP (リピート演奏) 表示</p> <p>3 <small>シャッフル</small>
SHUF (シャッフル演奏) 表示</p> <p>4 <small>リピート</small>
REP (リピート演奏 / 周波数設定 / 出力
レベル設定) ボタン 9 12 13</p> <p>5 <small>シーディー</small>
▶ (CD再生 / 一時停止) ボタン 10</p> <p>6 <small>ディスク</small>
DISC (ディスク番号) 表示</p> | <p>7 <small>トラック</small>
TRACK (曲番号) 表示</p> <p>8 <small>シャッフル</small>
SHUF (シャッフル演奏) ボタン 12</p> <p>9 <small>オフ</small>
OFF ボタン 10</p> <p>10 <small>エーエムエス/ディスク</small>
AMS/DISC (頭出し / ディスク交換 / 早
送り・早戻し) ボタン 9 11 13</p> |
|---|---|

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
操作ができない。	<ul style="list-style-type: none">• 内蔵のマイコンが誤動作している。 →ハイダウェイユニット側面のリセットボタンを押す。• 接続コード類がしっかり差し込まれていない。
音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none">• チェンジャーが不安定な場所に取り付けてある。 →頑丈な場所に取り付け直す。• ディスクがひどく汚れている。→ディスクをクリーニングする。• ディスクにキズがついている。→ディスクを交換する。

CDのエラー表示

CDチェンジャーが誤作動すると、エラー表示が約5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-01	ディスクマガジンがCDチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
E-02	CDチェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
E-99	何らかの原因でCDチェンジャーが動かない。	ハイダウェイユニット側面のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDチェンジャー (CDX-424RF)

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
SN比	94dB
周波数特性	10 ~ 20,000 Hz
ワウフラッター	測定限界以下
出力端子	バスコントロール出力端子 (8PIN) アナログオーディオ出力端子 (RCAピン)
消費電流	800 mA (ディスク再生時) 800 mA (ディスクローディングまたはイジェクト時)
使用温度範囲	-10°C ~ +55°C
寸法	約262 × 90 × 181.5 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約2.1 Kg

ハイダウェイユニット

使用周波数	88.3 MHz/88.5 MHz/ 88.7 MHz/88.9 MHz/ 89.1 MHz/89.3 MHz/ 89.5 MHz/89.7 MHz/ 89.9 MHz (切り換え式)
寸法	約124.8 × 30.0 × 99.8 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約330 g

ディスプレイ (RM-X64)

寸法	約148 × 30 × 15 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約120 g

その他

付属品	ディスクマガジン (1) 取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	CDクリーニングキット CDM-3K CDシングルアダプター CSA-8 日産ダイバーシティシステム 変換コード XA-82 欧州車用アンテナ変換コード RC-49, RC-50 アメリカ車用アンテナ変換コード RC-150GM, RC-160GM ディスクマガジン XA-250

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川16-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony Corporation Printed in Japan



* | - 3 - 8 6 5 - 0 1 7 - 0 1 * (1)